

大分教育事務所訪問②-52 (計125)

大分市立津留小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「共に生き、共に学び、共に汗する 心豊かな津留っ子の育成」を達成するために、学校の重点目標と目指す子ども像を以下のように定めています。

自立：基礎基本を身につけ、自己決定ができる子どもの育成

共生：自分も相手も大切にしてお互い、認め合える子どもの育成

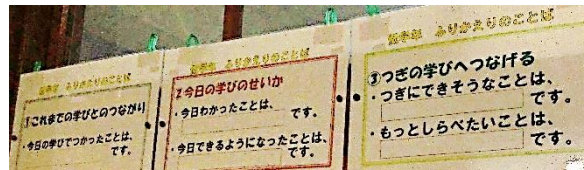
向上：よりよい生活を求めて、自分を磨き上げる子どもの育成

それぞれの目標に対して、知育、徳育、体育の観点から具体的な取組を定め進行管理を行っています。そのため、これまで行ってきた実践も、どのような資質・能力をつけるためかが明確になり、手段よりも目標を意識した実践へと発展しています。また、家庭、地域の取組も、3つの重点目標に対して設定されているので、学校との協働的な実践となっています。

今後は、協議の際に確認をした「自己表現力」のような、学校で育成を目指す（教科横断的な）資質・能力を定めることで、それぞれの組織がその資質・能力を意識をしながら取り組むことにつながり、これらの3つの重点目標を協働的にすすめることが期待されると思われました。

授業から学ぶ

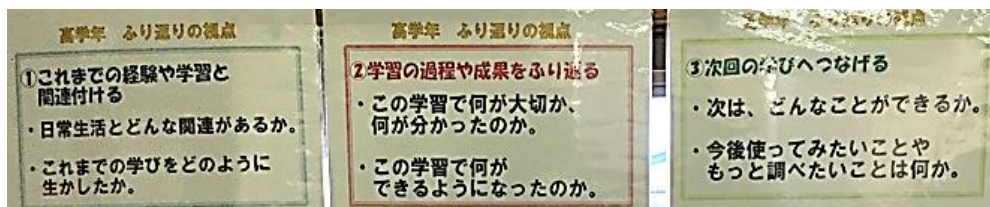
どの教室からも、子ども達の声が響き、特にペア学習や全体での学び合いが日常的に行われているので、話し合いが効果的な内容となっていました。また、本時のねらいも「追求対象、着眼点、到達点」が示されており、日常から意識され



NO.557 2021年12月 大分市立津留小学校

自立

先生の問いに積極的に答える人がいる。だから、意欲的に参加する人が増えてくる。



NO.557 2021年12月 大分市立津留小学校

共生

いろいろな人と交流することで多くのことが学べる。そして、新たな考えも生まれる。



NO.557 2021年12月 大分市立津留小学校

向上

短時間でも友達と意見を交換すると安心する。そして、新たな考えを知る。

ているのでしょう。本校は、子どものふりかえりを大切にしているので、今後は指導案における「振り返り」も教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記することで、教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで授業改善がより推進されると思われました。